

Kingsoft の場合

【目次】

キングソフト インターネットセキュリティ 2011 の除外設定	・・・	1～3 ページ
キングソフト インターネットセキュリティ U の除外設定	・・・	4～6 ページ

【対象となるウイルスチェッカー】

キングソフト インターネットセキュリティ 2011

【現象】

当該アンチウイルスソフトがインストールされている環境にて、当社商品のインストール・更新等を行うと、プログラムファイルが隔離される場合があります。実行ファイルが隔離されると、「問題が発生したため...」のメッセージが出て当社商品の起動ができないという症状が発生します。

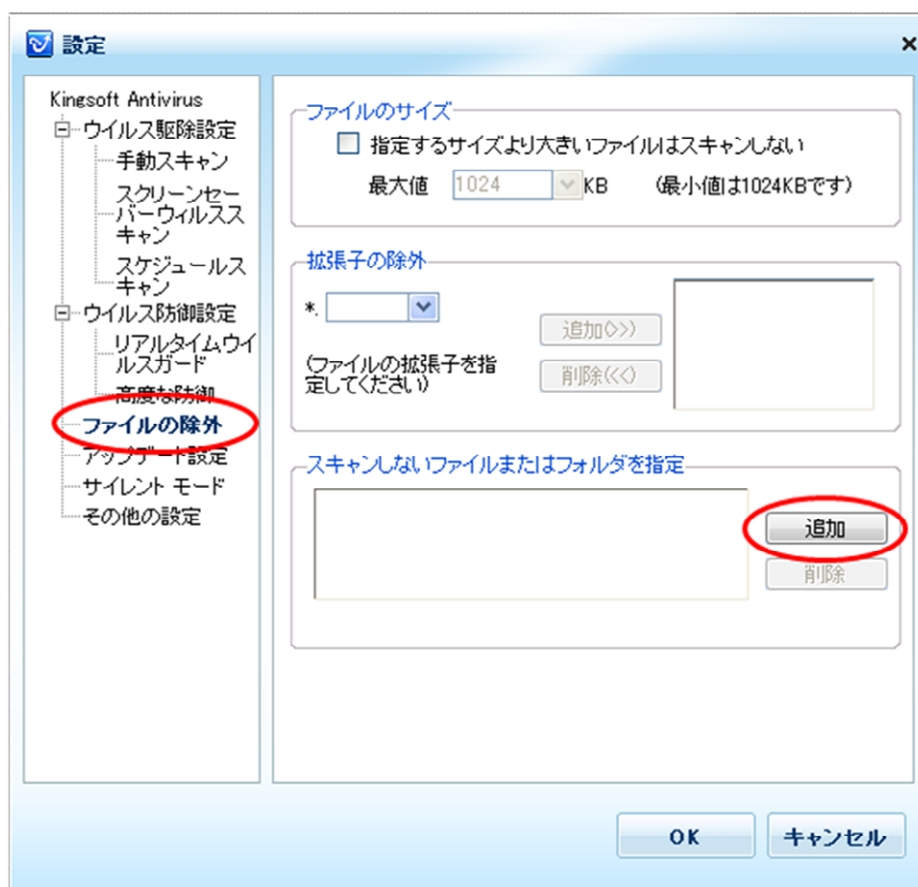
【回避方法】

アプリケーションのインストールフォルダを、リアルタイムスキャンの対象外に設定することで回避可能です。誤認識が複数のアプリケーションで検出される可能性がありますので、当社製品がインストールされた上位フォルダを除外設定します。下記の要領で除外設定をしてください。

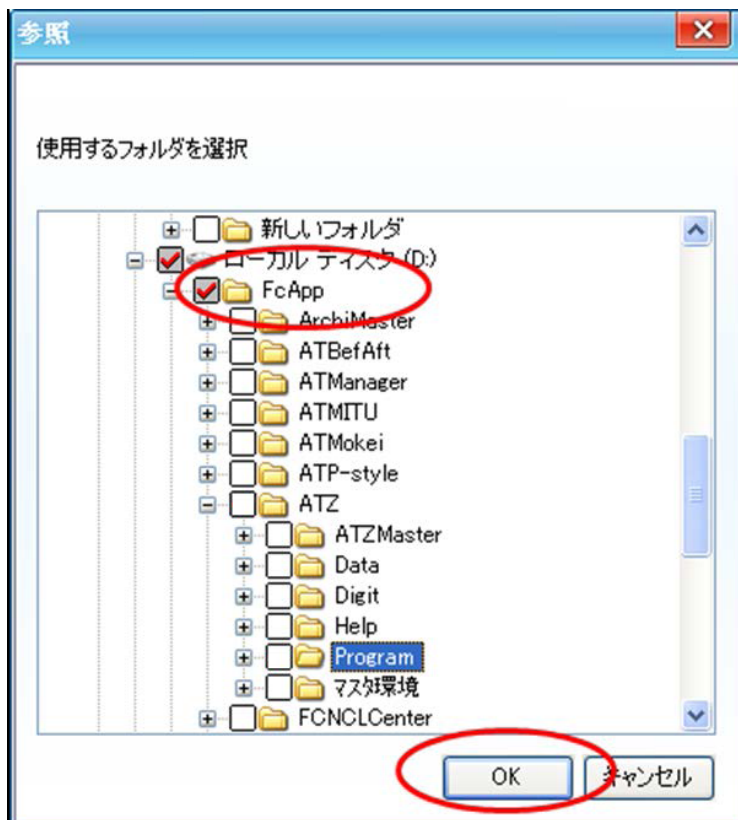
1. Kingsoft Antivirus を起動します。
2. 右上の「設定」をクリックします。



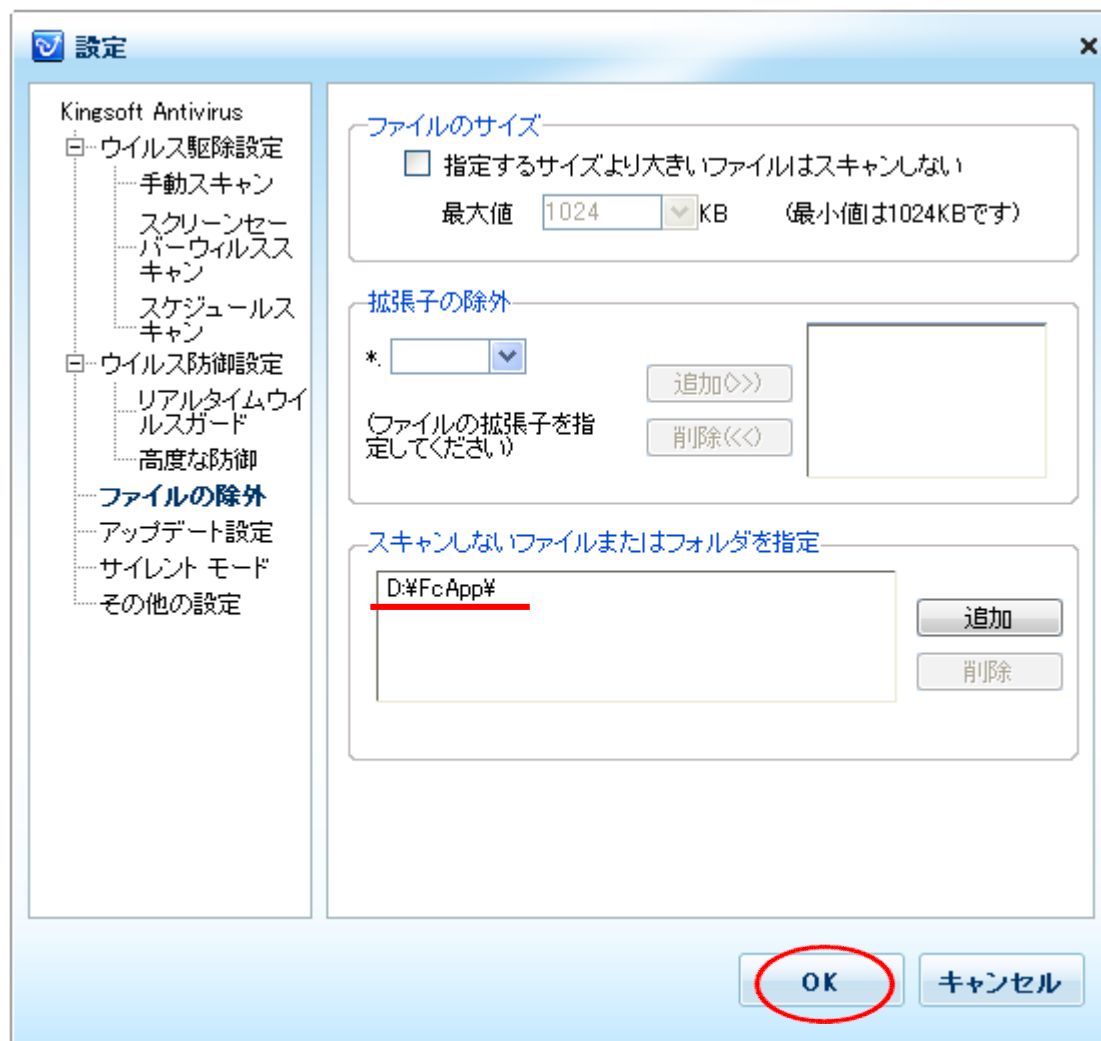
3. 左の欄から「ファイルの除外」を選択し、「スキャンしないファイルまたはフォルダを指定」の「追加」ボタンをクリックします。



4. [参照]ダイアログで、当社製品がインストールされた上位フォルダ(X:%FCAPP)を指定します(X:はプログラムのインストールドライブです)。



5. [設定]ダイアログで、選択フォルダパスを確認し「OK」をクリックします。



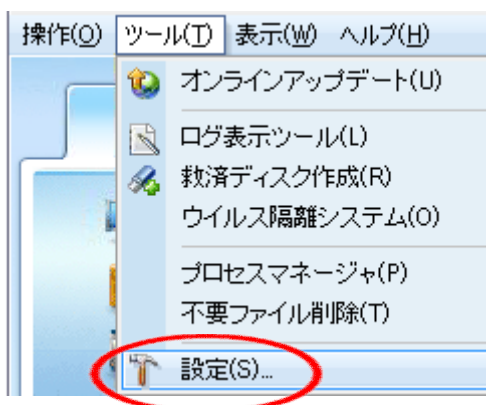
【対象となるウイルスチェッカー】

キングソフト インターネットセキュリティ U Service Pack1

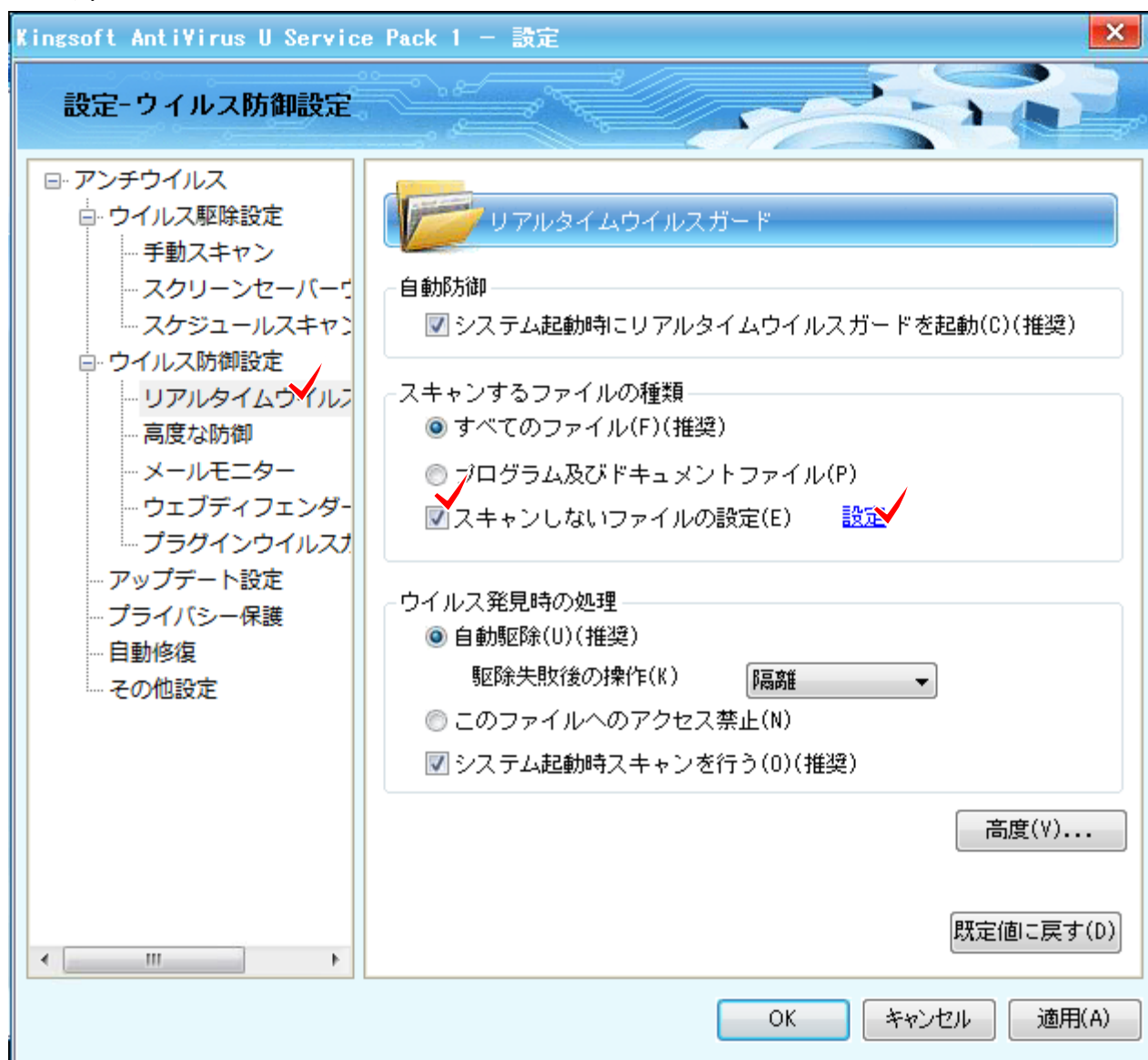
1. Kingsoft Antivirus を起動します。



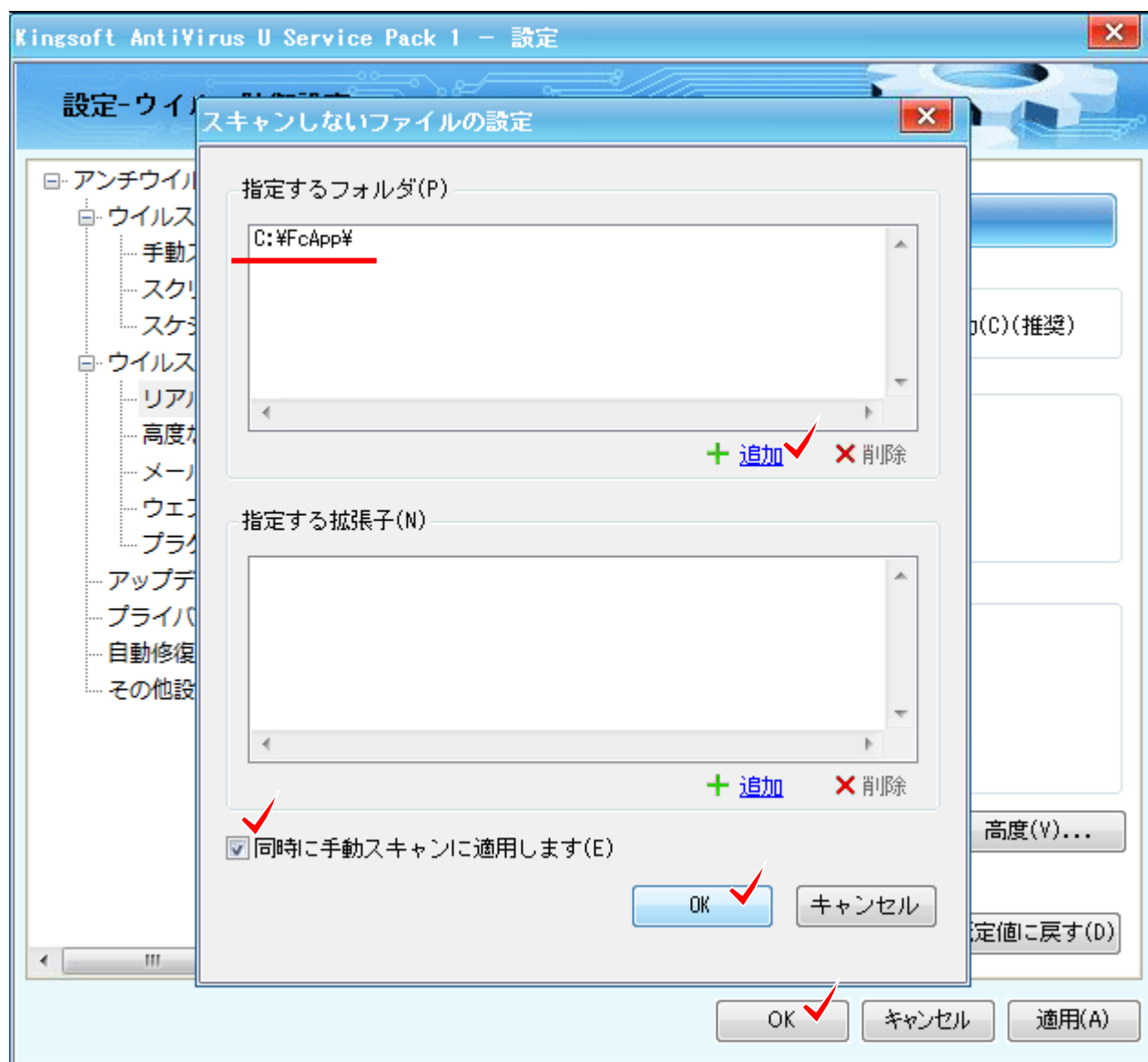
2. [ツール]メニューの「設定」をクリックします。



3. 左の欄から[リアルタイムウイルスガード]を選択し、[スキャンしないファイルの設定]をONにして[設定]をクリックします。



4. [スキャンしないファイルの設定]ダイアログで[追加]をクリックし、当社製品がインストールされた上位フォルダ (X:%FCAPP)を指定します(Xはプログラムのインストールドライブです)。



5. [同時に手動スキャンに適用します]をONにして、[OK]、[OK]で順にダイアログを閉じてください。